

井原民報

第134号
発行所
日本共産党
井原市議事務所
井原市井原町103
TEL 62-6200
FAX 62-6209



井原市のマスコットキャラクター「でんちゅうくん」

9月29日から10月17日の19日間、井原市議会9月定例会が開かれました。日本共産党の森本市議は、10月3日に7項目を質問し、市長や教育長の考えをいただきました。森本市議は、今回の質問で平成元年6月市議会の初質問から連続102回目の質問になります。また、この間の質問項目の総計は635項目になりました。2件の質問と答弁の概要を紹介します。

やっと来年度から幼小中学校の全教室にエアコン設置が実現

これまで私が関係者の声としてこだわり続け、提言しつづけた幼稚園、小・中学校の保育室、普通教室に空調機(エアコン)を設置することについてお尋ねいたします。市長が先の市長選の公約の中で、幼稚園、小・中学校の保育室、教室に空調機を設置することを掲げられていました。私は平成22年12月議会、23年12月議会、24年12月議会、25年9月議会と、22年から毎年一般質問で「幼・小・中学校の普通教室にエアコンの設置を」とお願いしてきた経緯があります。この空調機の設置時期は、平成27年度から4年かけて順次この間に進めていくことでした。しかし私は、これまで計画的に進めていくつもりです。なぜ4年かけて設置という目標に遅延するのでしょうか。また、設置費用はどのくらい必要ですか。そして、設置はどこから始めようか、どの位の必要ですか。設置は2年間で済ませたい。順は幼・小・中の順でと提言(森本市議は、設置は2年間で済ませたい。)

私(市長)の任期は4年なので、4年間かけてやっていきたい。空調機を設置するについては初期投資もそうですが、10数年後には機器の更新が来ますので、事業費の平準化を図るために4年で整備したい。設置費用は5億円から6億円かかるのではないかと考えている。設置順は、建て替えを計画している井原中学校を除いて平成27年度で4中学校、平成28・29年度で小学校、平成30年度で幼稚園にと考えている。



森本 典夫 議員
(日本共産党 木之子町)

質問する森本市議(井原放送より)
市福祉基金助成事業の「紙おしめ利用券」の助成対象の拡大を

拡充の声をしっかりと踏まえ、これから制度自体もいかにタイムリーに検討もしていきたい。

2014(平成26年)井原市議会9月定例会での質問議員の項目

- 坊野 公治議員 ◆ 瀧本市長3期目の施策について
- 河合 謙治議員 ◆ 防災体制の再構築について ◆ 公共施設の対応について
- 井口 勇議員 ◆ 定住促進について
- 西村 慎次郎議員 ◆ 広域連携について
- 三宅 文雄議員 ◆ 学力向上対策について ◆ 学校と地域の連携について
- 柳井 一徳議員 ◆ 自主防災組織について
- 惣台 己吉議員 ◆ 安全・安心で住みよいまちづくりについて
- 三輪 順治議員 ◆ 市長の政治姿勢について ◆ 地域の医療・介護・福祉を総合的に確保するためのビジョンについて
- 上野 安是議員 ◆ 「いばらっ子イノベーション35推進事業」の成果について ◆ 児童虐待について
- 藤原 浩司議員 ◆ 認知症高齢者対策等、全般について ◆ 学校教育等、全般について
- 佐藤 豊議員 ◆ 空き家の適正管理について ◆ 地域包括ケアシステム構築に向けての互助の拡充について ◆ 土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域の周知対策について ◆ 防犯カメラの増設について ◆ ふるさと納税の現状と今後の取り組みについて
- 西田 久志議員 ◆ 井原市の人口減少問題について ◆ 国民健康保険の安定運営について ◆ 井原あいあいバスの安全運行について
- 森本 典夫議員 ◆ 瀧本市長の今後4年間の市政運営について ◆ 「土砂災害警戒区域」等に住んでいる市民の生命を守る施策について ◆ 難聴者にとって画期的な「コミュン」の購入について ◆ 井原市福祉基金助成事業の「紙おしめ利用券」の助成対象の拡大と助成額の増額について ◆ リフレッシュ公園内の芝生公園に「あずまや」を建設することについて ◆ 「井原あいあいバス」を高齢者が利用しやすくする工夫について ◆ D I Y型空き家改修事業補助金制度の創設について



この「井原民報」は森本ふみお市議のブログ (<http://m.okajcp.com>) でも見るができます

市政についてのご意見ご要望をお聞かせ下さい。(電話 事務所62-6200 森本宅62-6061)

